

過剰な労働時間の影響

～ ワークライフ・コンフリクトを解消し、
ワークライフ・バランスを実現するために～

原 ひろみ
労働政策研究・研修機構

ワークライフ・コンフリクトとは？

ワークライフ・バランス

ワークライフ・コンフリクト

内閣府の報告書より(2006)

- (1) 多過ぎる役割を担うこと (role overloaded)
- (2) 家庭に仕事を持ち込むこと (work to family interference)
- (3) 仕事に家庭を持ち込むこと (family to work interference)

仕事上、 過度な役割を担うとどうなるか？

ふだんの仕事で、

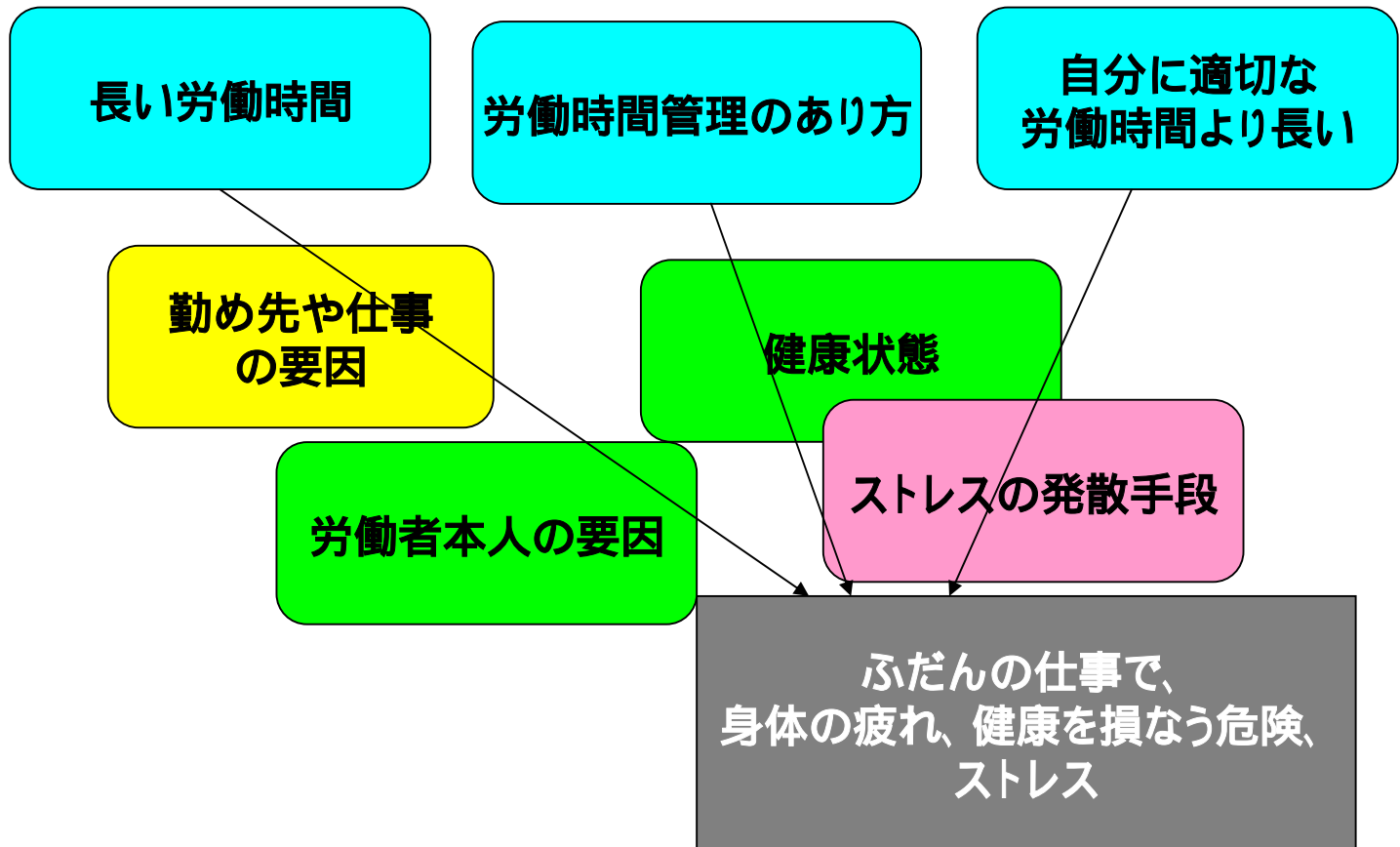
- 身体の疲れ
- 健康をそこなう危険
- ストレス

を強く感じる。

== 仕事面に起因

ワークライフ・コンフリクトが発生している状態

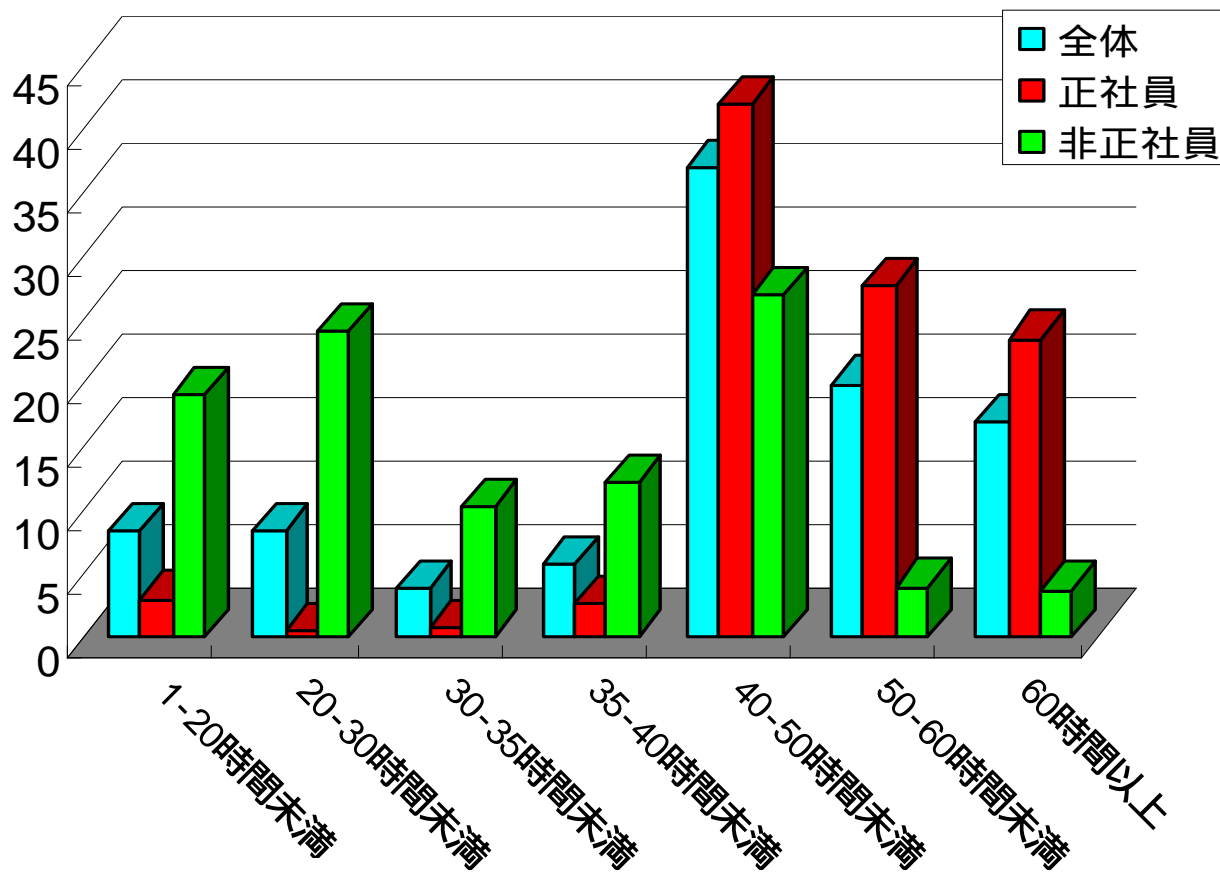
ふだんの仕事で、 身体の疲れ、健康を損なう危険、ストレス を引き起こす要因



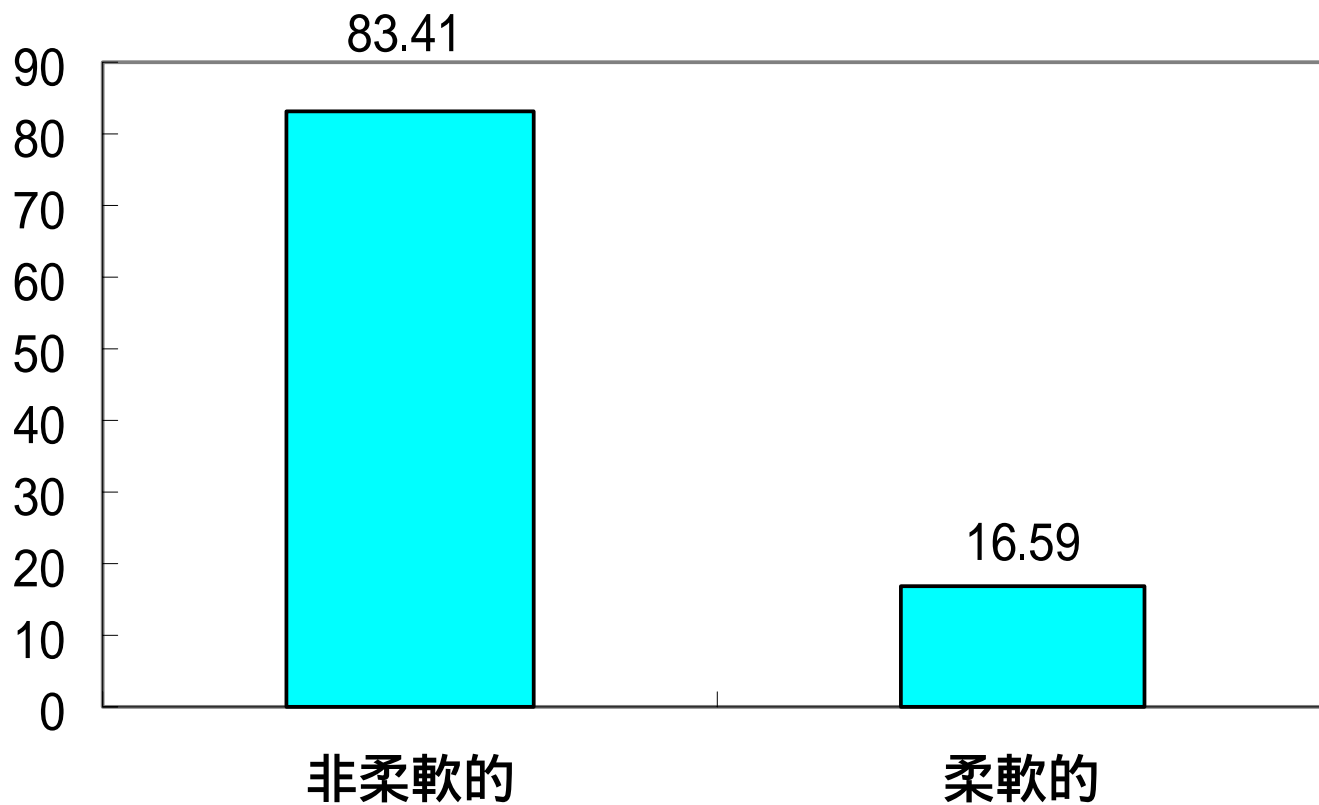
使用データと分析対象

- (1) 「日本人の働き方調査」
(2005年8～9月に実施)
- (2) 25～44歳の民間企業で働いている人

週あたり労働時間の分布



労働時間管理の柔軟性

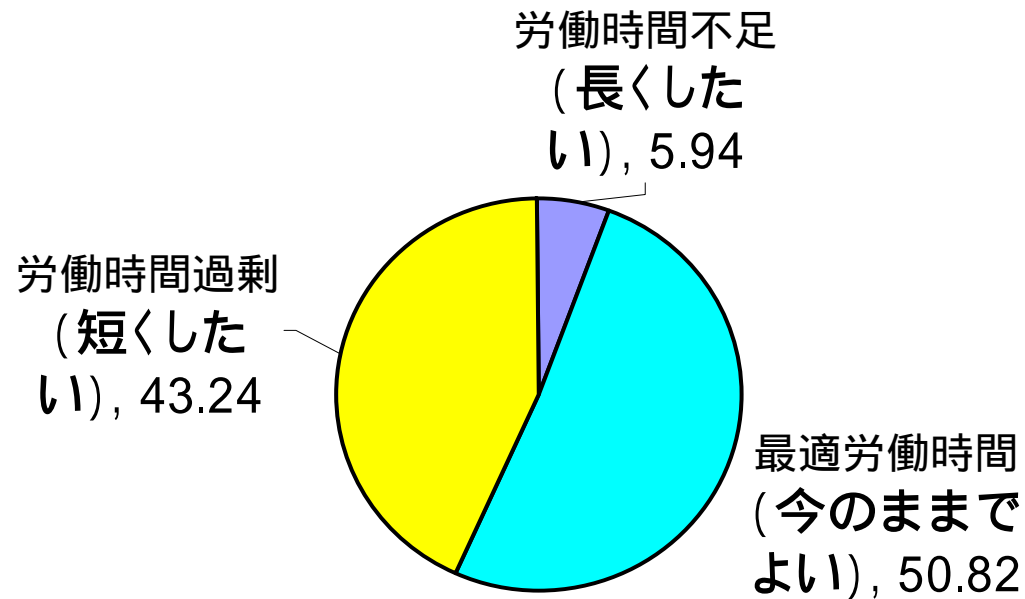


労働時間の過不足感の定義

「あなたは、労働時間を短くしたいですか、長く
したいですか」

- 1: 短くしたい = 「労働時間過剰」
- 2: 今のままでよい = 「最適労働時間」
- 3: 長くしたい = 「労働時間不足」

自分の今の労働時間をどう感じているか

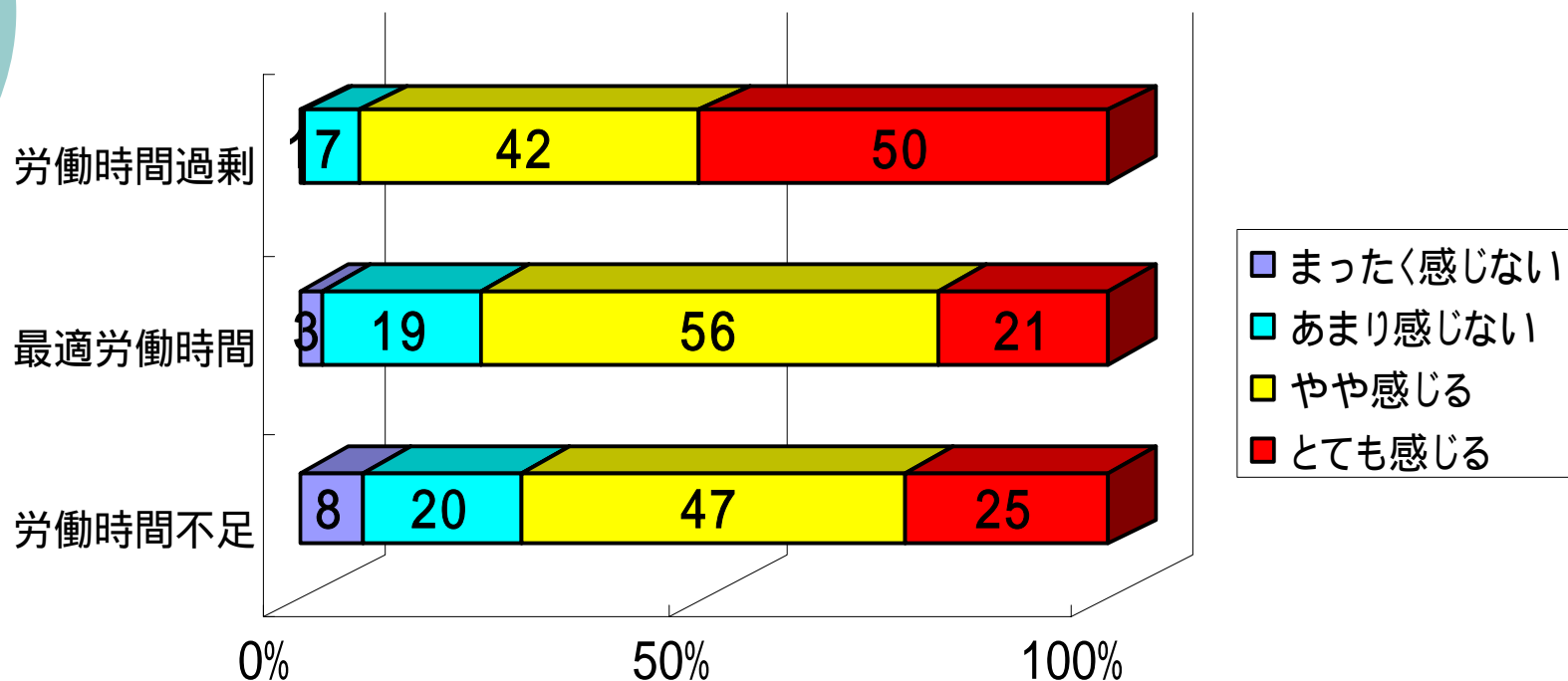


(全数: 1,346人)

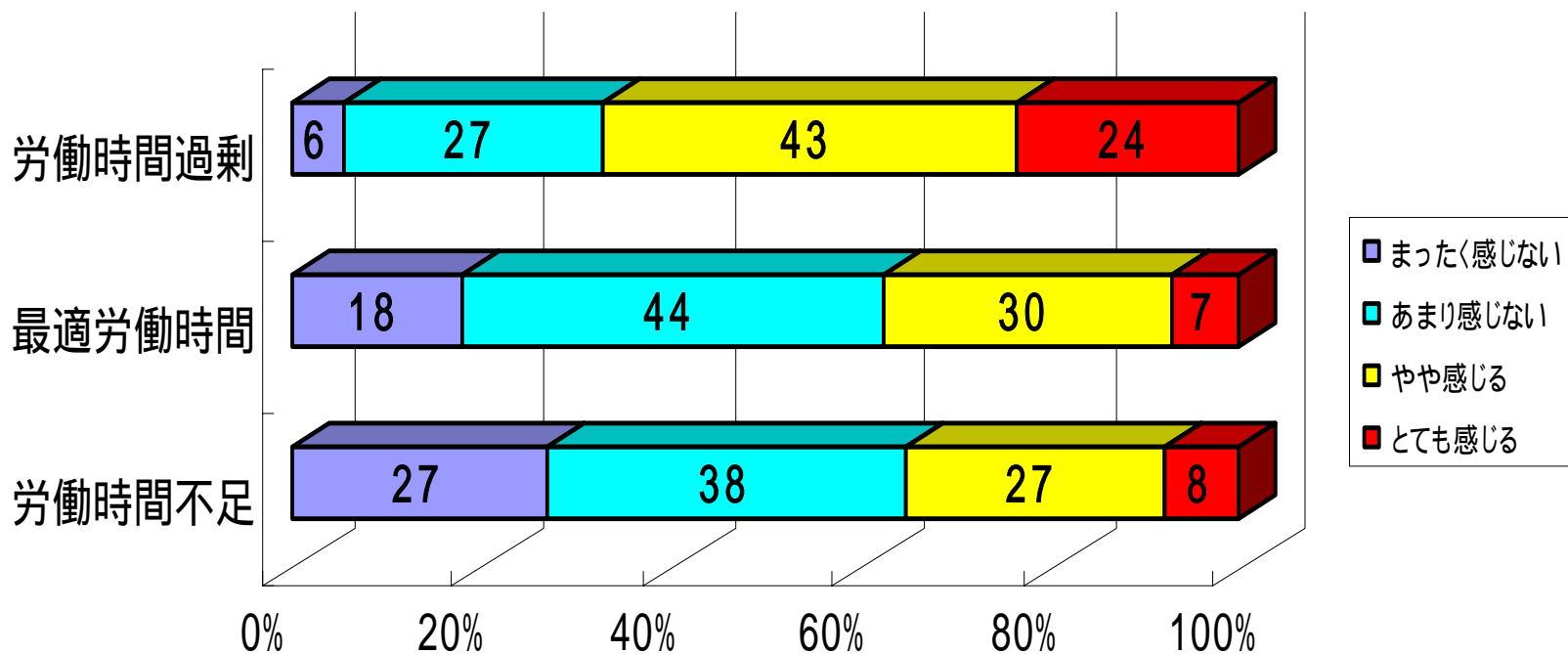
労働時間の過不足感が及ぼす影響

～ 単純集計の結果から～

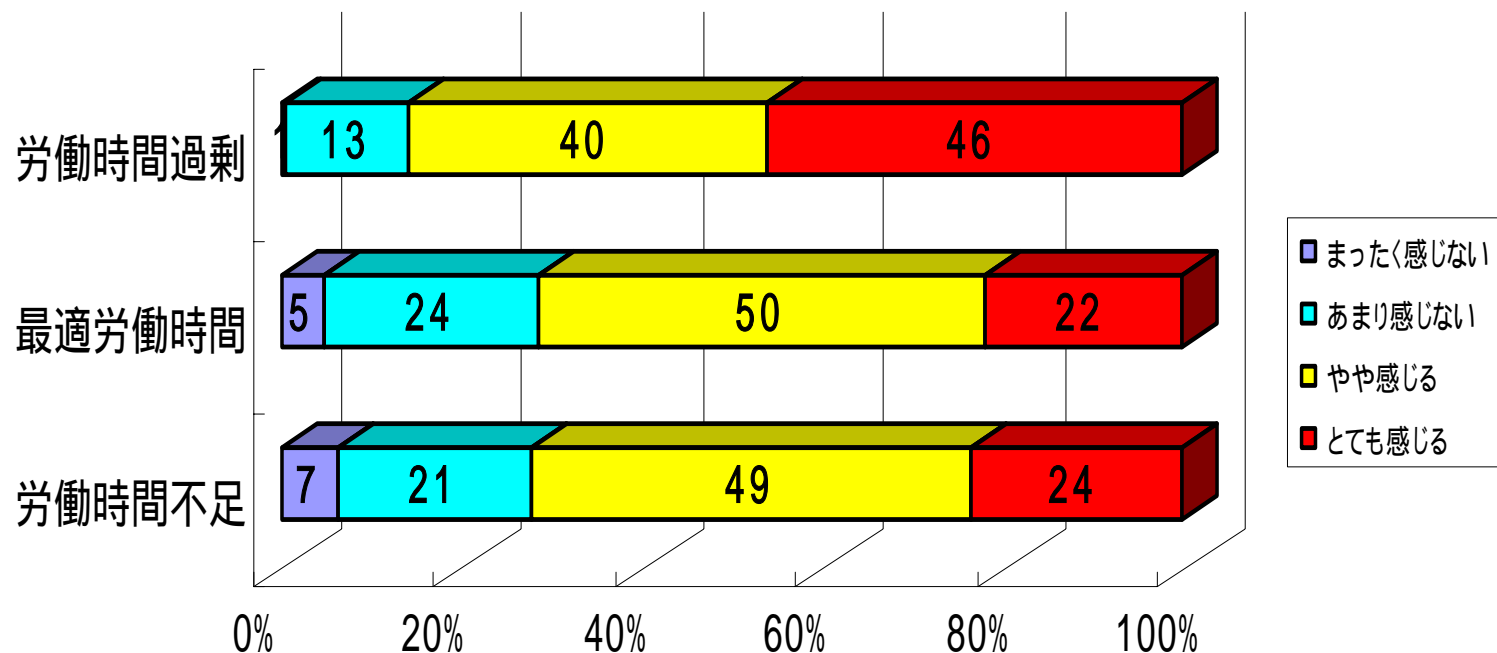
仕事上の身体の疲れと 労働時間過不足感



工作上、健康をそこなう危険と 労働時間過不足感



仕事上のストレスと 労働時間過不足感



労働時間の過不足感が及ぼす影響

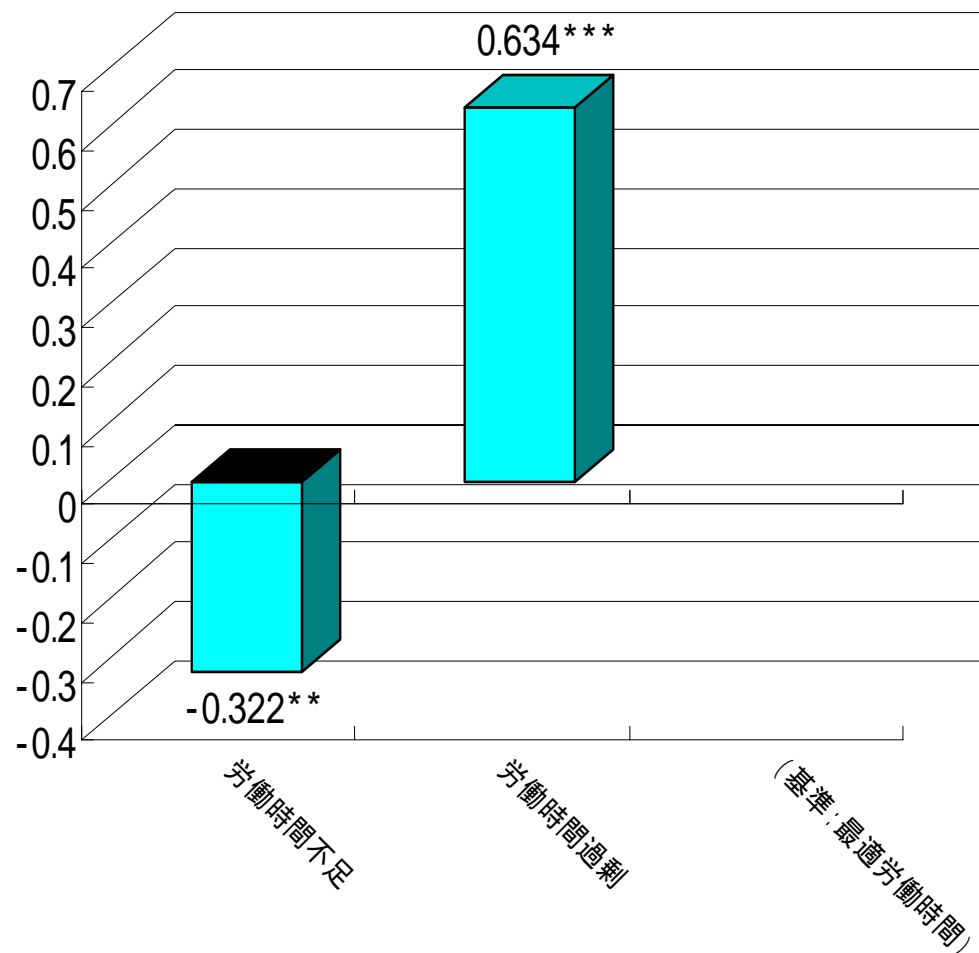
～ 計量分析の結果から～

計量分析の結果とは？

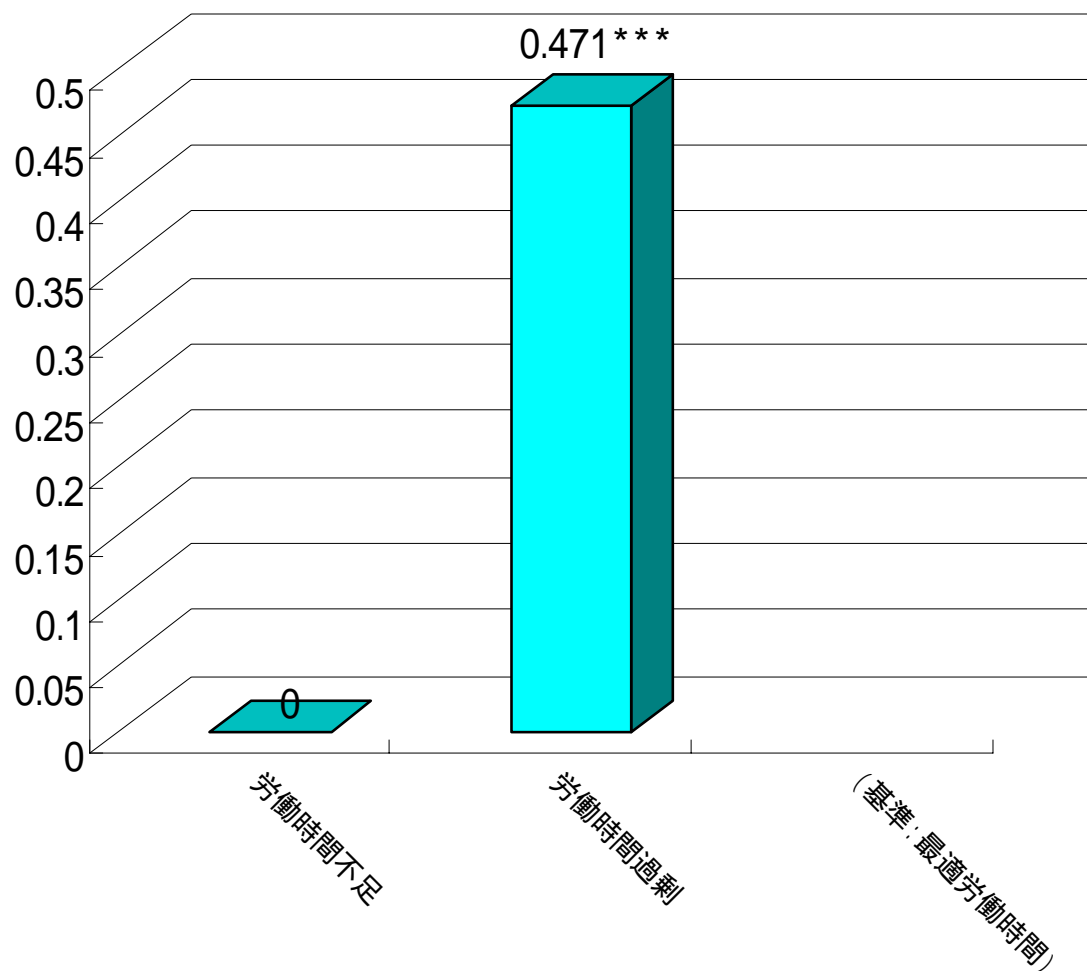
自分に適切な
労働時間より長い

ふだんの仕事で、
身体の疲れ、健康を損なう危険、
ストレス

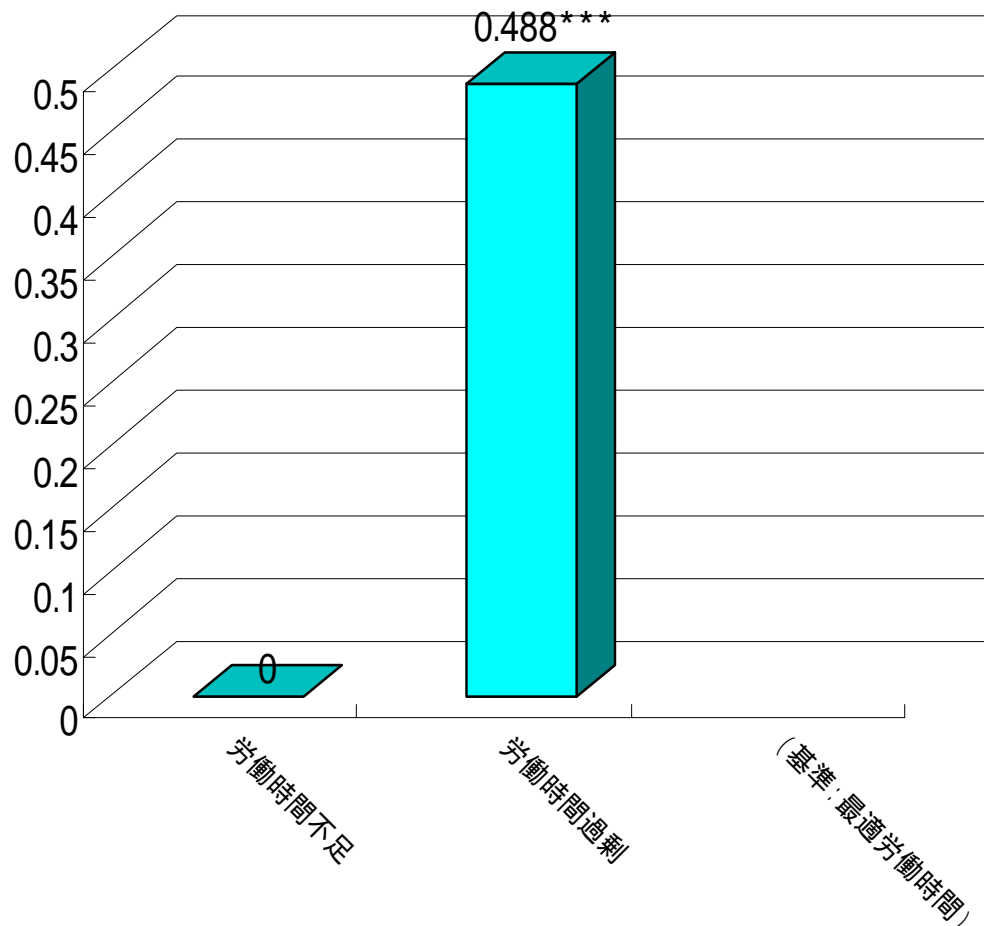
身体の疲れについての 順序プロビット分析の推定結果



健康をそこなう危険についての 順序プロビット分析の推定結果



ストレスについての 順序プロビット分析の推定結果



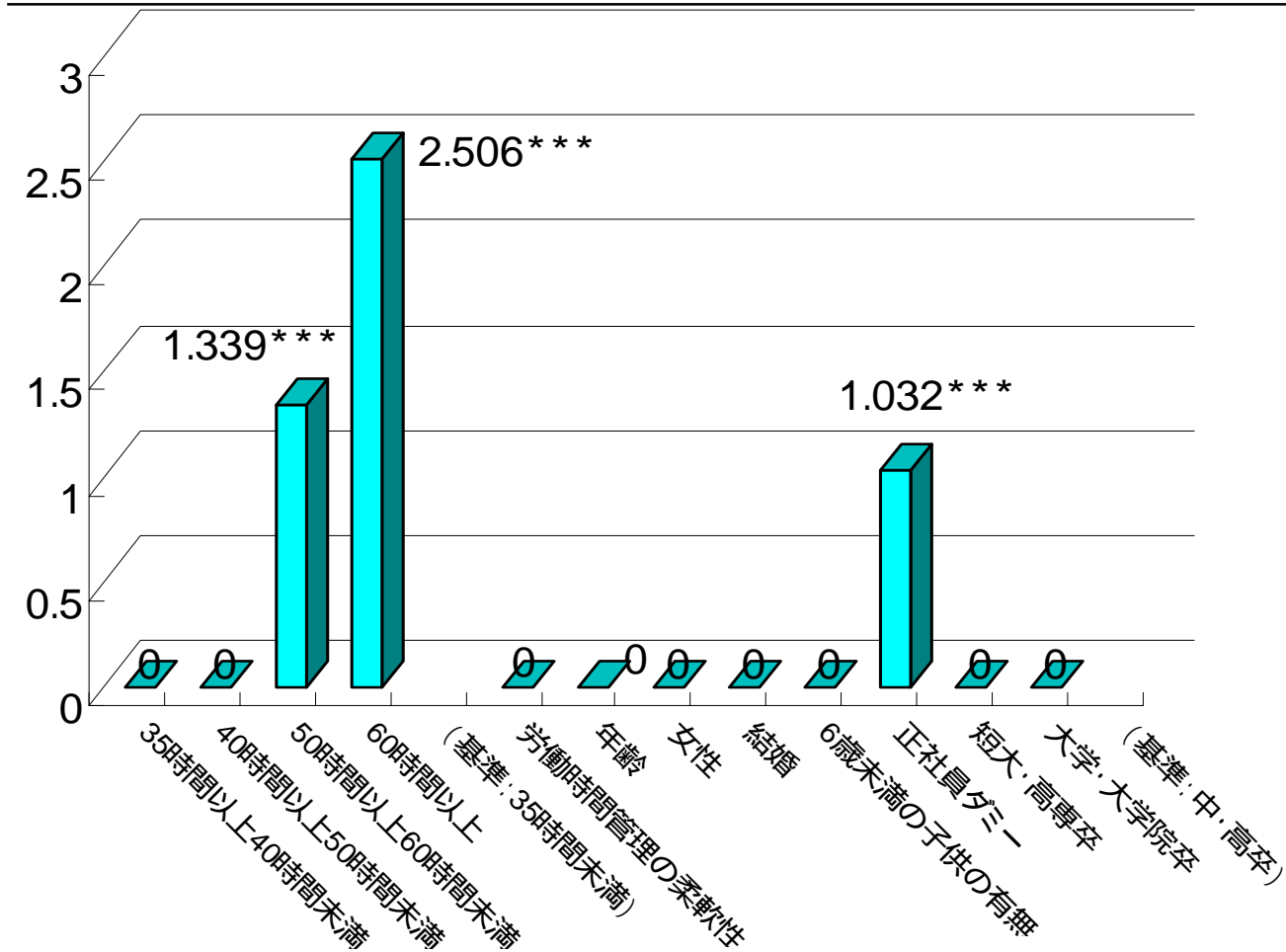
結果のまとめ(1)

- 労働時間を短くしたいと考えている人、つまり労働時間を過剰に感じている人ほど、仕事上で、身体の疲れや健康を損なう危険、ストレスをより強く感じている。

ワークライフ・コンフリクトに直面。

誰が労働時間を過剰に感じているのか？

～ 計量分析の結果から～



結果のまとめ(2)

- 週あたり労働時間が50時間以上の人ほど、自分の労働時間を過剰だと感じている。
まずは長時間労働の是正を。
- そのほかの就業形態の人よりも、正社員の人ほど、自分の労働時間を過剰だと感じている。
正社員の働き方の見直しを。

(参考)

計量分析のその他のコントロール変数

1. 仕事上の身体の疲れ、健康をそこなう危険、ストレスについての分析
年齢、女性ダミー、結婚ダミー、6歳未満の子供ダミー、女性 * 結婚ダミー、女性 * 6歳未満の子供ダミー、正社員ダミー、女性 * 正社員ダミー、学歴、事業所規模、業種、職種、職場の労働組合の有無ダミー、現在の健康状態、健康への取組み、ストレスについての相談相手
2. 労働時間過不足感についての分析
女性 * 結婚ダミー、女性 * 6歳未満の子供ダミー、女性 * 正社員ダミー、事業所規模、業種、職種、職場の労働組合の有無ダミー、家計全体の所得水準